



# 学校だより

## ～学校評価特集号～

令和2年度 第3号  
令和3年3月11日発行  
香川県立聾学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。  
アンケートへのご協力ありがとうございました。

### 各部の評価

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
幼稚園部	コミュニケーションの基礎の力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実態を把握し個に応じた手段を用い、生活全般において子供の思いに共感しつつ表現の見本を示した。楽しくやりとりができるようオノマトペ等も取り入れた。</li> <li>○それぞれにやりとりができることが多くなり、理解表現できる言葉が増え、気持ちの表現もできるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の実態に応じたコミュニケーション支援を行う。</li> <li>・活動を振り返ったり、楽しかった活動を通してやりとりをしたりできる視覚情報や掲示物について、幼児の実態を踏まえて、工夫をする。</li> <li>・相談会や学習会、交流会等、保護者にとって有意義な会となるよう検討し実施する。</li> </ul>
	保育活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○五感を取り入れた活動や行事を行い、活動の際には子どもの気持ちに寄り添うように心がけ、活動後は写真や作品等を掲示した。</li> <li>○興味や関心を示す物が増え、それぞれに笑顔で活動に参加できるようになった。掲示物を見て何度も活動を振り返って楽しかったことを表現したりやりとりしたりするなど、活動の工夫がコミュニケーションにもつながっていった。</li> </ul>	
	教員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オンライン研修に全員が参加でき、一緒に学べ、意見交換もでき、有意義な研修となった。</li> </ul>	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
小学部	言語活動の充実とコミュニケーションの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童同士で相談、話し合う機会を設定した。子ども同士の意識も育ち、コミュニケーションの拡充につながっている。</li> <li>○児童の作品や学習の成果を積極的に廊下に掲示することで、教員や他の児童と交流するすきっかけを設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の充実とコミュニケーションの拡充を目指す。個に応じた取り組みを行う。</li> <li>・日本語文法指導を継続して取り組む。</li> <li>・小学部段階でのキャリア教育の理解と推進のため教員の研修を行い、進路指導部との連携を密にする。</li> </ul>
	日本語文法指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部内の研修等で情報交換を行ったり、他のグループの学習状況を参観したりすることにより、情報の共有や指導法の継承という意味でも研修を深めることができた。</li> </ul>	
	進路学習の在り方とその実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学部への体験入学や高等部の進路学習報告会に参加することができた。</li> <li>○進級や進学についての情報提供や相談を、必要に応じて行っていく必要を感じた。</li> </ul>	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
中学部	学力の向上(生徒一人一人の実態に応じた学力の向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究授業、討議などを通して、授業改善教材の工夫等について話し合いをもち、授業に活かした。各教科間での情報共有が課題に挙げられた。</li> <li>○それぞれの生徒の実態に合った指導方法が工夫され、見てわかる授業を実践し、学力の向上につなげた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の実態をしっかりと把握し、生徒に分かりやすい学習指導方法を工夫改善し、学力を伸ばす。</li> <li>・それぞれに合った方法で、相手に分かりやすく伝える力、情報をつかむ力をつける。</li> <li>・体験的な学習を通して、生徒が自ら考え動く力をつける。</li> <li>・進路指導部との連携を密にし、保護者へ進路に関する適切な情報提供を行うとともに、将来の進路に対する関心を高める。</li> <li>・保護者との協力や連携を図りながら、生徒個々に応じた支援等について情報共有する。</li> </ul>
	コミュニケーション能力の向上(読話指導、語彙の拡充)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帰りの会の前の時間を使っての言葉の学習や外部の方とのコミュニケーションをとる機会を設けることで、伝えようとする姿勢が向上した。</li> <li>○伝わらない理解できない場合の対応について、自分で対処する姿も見られた。</li> </ul>	
	生きる力・自立の力の育成(職場体験学習、交流及び共同学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的な学習を通して、自分の目標を掲げ、実際の場で意識的に取り組むことができた。それぞれの生徒が成果及び今後の課題を得ることができた。</li> <li>○様々な職業について事前学習で学ぶとともに実際の仕事を体験することで、仕事の大変さ、楽しさを学ぶことができた。</li> </ul>	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
高等部	一人一人に応じた学習内容を設定し、進路目標の実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人が希望する進路を実現するために、現場実習やオンラインによる大学説明会への参加などの取組を行い、3年生全員の進路を決定することができた。</li> <li>○授業だけでなく、学校生活全般にわたり、一人一人に合わせたさまざまな取組を進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の進路目標の実現を図るために、今まで以上に、個に応じた学習内容や指導方法を検討する。</li> <li>・引き続き、コミュニケーション力の向上のために、高等部全体で取組を行う。次年度は、コミュニケーション力を活かす取組を進めていく。</li> <li>・一人一人が主役となれるような生徒会活動、部活動などを計画する。</li> <li>・保護者への情報発信の仕方を工夫する。</li> </ul>
	活発なコミュニケーションの場を設け、望ましい対人関係の構築を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高等部の職員全員が共通理解をした上で指導を行った。</li> <li>○校内外でさまざまな機会を設け、積極的にコミュニケーションが行えるように工夫した。</li> <li>○相手に合わせたコミュニケーション手段を選べるようになりつつあるなど、成果が上がってきているが、まだまだ課題があると感じる。</li> </ul>	
	部活動等による自主的な活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナの影響で大会の中止が相次ぎ、一人一人が主役となるような活躍の場がほとんどなかった。</li> <li>○保護者から、予定表の配布時期について等のご意見があった。また、情報発信不足が課題として上げられた。</li> </ul>	



令和3年2月17日（水）に第2回学校評議員会が開催されました。学校関係者評価委員会も兼ねており、学校評議員に加え、PTA会長・副会長様にご参加をいただきました。



〔各評議員等の方々のご意見やご感想の一部をお知らせします。〕

- 教育する上で学習の基本となるのがコミュニケーションである。ことばは1単語に1つの意味ではないので、非常に難しい。また目に見えるものをことばとして理解させることはできても、目に見えないものを理解させるのは非常に難しい。それは、学校だけで習得することは難しく、家庭や地域でも教えていくことが大切。家庭も大変だと思うが、地域とつながる必要があり、子どもを孤立させてはいけない。
- 聾学校の良さは、「体験して学ぶ」ということである。日頃、先生とのやり取りで疑問に思ったことはその都度質問している。買い物学習一つとっても、家庭と学校で協力して指導できている。家庭で自分の思いを話せるようになってきているので、今後は自分の障害について説明したり、援助を求めたりできるようになってほしい。
- 卒業後、学校でやったことが上手く伝わっていなかったり、身に付いてきたことが活かされてなかったりする。「こうしたらできる」ということが伝わっていない。卒業後に向けて、どう伝えていくかを十分検討してほしい。
- ICTの活用は学校でできても、家庭では難しい部分がある。家庭と連携しながらICT機器の活用を進めていくことが子どもにとってよいのではないかと思う。iPadに向かってそれぞれが勉強するというのはベストではないので、機器の取り入れ方を検討してほしい。
- 新学習指導要領に向けて学校が作成している様々なものを、学部で共有してつなげてほしい。何を学ばせるか。作成したツールをどう精選していくかを実践できる形で整理してもらえるといい。
- 小学部から中学部、中学部から高等部の引継ぎをしっかりとしてほしい。家庭での会話の中で、ことばを正しく覚えていないことに気づくことがある。小さいころから細かいニュアンスの違いなどをしっかりと教えてほしい。
- 「痛い」という表現一つとっても、どういう痛さかを説明することはろう者には難しい。手話には様々なニュアンスがある。それらは、学校の中で、家庭の中で、そして社会の中で身に付けていく必要があり、次に書くことにつなげていくことが必要。今できることは、家庭で困っていることを、些細なことも含めて全部共有していただけたらと思う。子どもが生き生きと学べる聾学校のための環境づくりをしていきたい。

この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。学校で改善する必要があるものについては、すでに検討を始めているものもあります。今後も、学校評議員会にてご意見を拝聴し、検討および改善を進めてまいります。

## 令和2年度学校評価表(幼稚部自己評価)～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 幼稚部における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育む。(部全体)	2	3	0	0	100%
② 人や環境との関わりを通して、学校生活や遊びを楽しみ、自分の力で頑張ろうとする子どもを育む。(部全体)	3	2	0	0	100%
③ 基本的な生活習慣を養い、健康で明るく生き生きとした子どもを育む。(部全体)	4	1	0	0	100%
II 課題取組に関する目標目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① やりとりをしたい、通じ合いたいという気持ちを育てるような関わり(子どもの気持ちの理解・受け止め・共感)をする。(各個人)	3	1	1	0	80%
② 個々の実態を把握し、それぞれに応じたコミュニケーション手段を使用し、理解できる言葉や事がらを増やすような働きかけをする。(各個人)	3	2	0	0	100%
③ 気持ちや要求が伝わるように、個々に応じた表現の見本を示し、表現力の向上を目指す。(各個人)	3	1	1	0	80%
④ 子どもの興味・関心を広げられるような保育活動の工夫を図る。(各個人)	1	4	0	0	100%
⑤ 校内外での研修を利用し、聴覚障害児教育に関する研修をする。部内でも互いに学び合いを行う。(各個人)	2	3	0	0	100%
III 学習指導(自立)における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 子どもの聞こえや発音に配慮するとともに、言語力の向上に努める。(各個人)	2	3	0	0	100%
IV 交流及び連携に関する目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 学校間交流や居住地校交流では、交流先と連携し、同年代の幼児と触れ合う楽しさを味わえるようにする。(部全体)	3	2	0	0	100%
② 家庭や関係機関との連携を丁寧に行い、子どもや保護者への支援に役立てる。(各個人)	3	2	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	0	5	0	0	100%
② 職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	2	2	1	0	80%
③ 会計処理を適切に行う。(各個人)	4	1	0	0	100%

## 令和2年度学校評価表〔幼稚部保護者アンケート〕～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 学習活動について	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様は、先生や友達と一緒に、楽しく学校生活を送ることができましたか。	3	1	0	0	0	100%
② 日々の保育内容や行事は、お子様の興味、関心に合っていましたか。	4	0	0	0	0	100%
③ お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	4	0	0	0	0	100%
II 課題取組に関する目標目標	A	B	C	D	?	B以上 [%]
④ 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段(音声、手話、指文字、身振りサインなど)に関して、配慮していましたか。	4	0	0	0	0	100%
⑤ 懇談や連絡帳などによって、学校でのお子様の様子が適宜伝えられていましたか。	4	0	0	0	0	100%
II その他	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様に関する心配事などを、教員に相談することができましたか。	3	0	1	0	0	75%
② 学習会や研修会等で、いろいろな情報を得ることができましたか。	3	0	1	0	0	75%

## 令和2年度学校評価表(小学部自己評価)～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 小学部における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①一人一人の実態を把握して障害の特性に応じた指導上の配慮を行い、学力や社会へ出るために必要な基本的な力の向上を図る。(各個人)	5	8	2	0	87%
②音声を意識したやり取りや言語活動等を通して、コミュニケーション能力を高める。(部全体)	7	5	2	1	80%
③望ましい生活習慣の形成を通して、健康や安全に関心をもとうとする態度を育成する。(部全体)	7	8	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそって行き、計画通りにすすめる。(各個人)	4	10	1	0	93%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 授業の始まりと終わりの時刻を守る。(各個人)	2	13	0	0	100%
②体験的な学習や総合的な学習の時間等を有効に使い、自ら考え動く力を育む。(部全体)	5	8	2	0	87%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	5	10	0	0	100%
② 生徒自身が障害を正しく理解し、肯定的に捉えられるよう、意識して取り組む。(部全体)	4	9	1	1	87%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	3	12	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	4	11	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	5	9	1	0	93%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	3	11	1	0	93%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	10	5	0	0	100%

## 令和2年度学校評価表〔小学部保護者アンケート〕～集計表～

香川県立聾学校

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。  
 C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。  
 D：達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様の各学期の目標(生活面・学習面)は、達成できましたか。	4	7	0	0	0	100%
② 教員はお子様の聞こえに配慮し、手指メディア(手話、指文字等)、パソコン教材(パワーポイント、デジタル教科書等)、絵カードなどの視覚的な方法を使って分かりやすい指導ができていましたか。	10	1	0	0	0	100%
③ 学級懇談会や連絡帳、学級通信等によって、学校でのお子様の状況が適切に伝えられていましたか。	9	2	0	0	0	100%
④ 教員は、通知表等において、お子様の能力や努力を適切に評価できていましたか。	9	2	0	0	0	100%
⑤ 教員は、日々の家庭での宿題・課題等を適切に提供して指導できていましたか。	9	1	0	0	1	91%
II その他	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① 教員から、お子様の悩みや学習面、生活面での困難さ等について、適切なアドバイスがなされていましたか。	5	6	0	0	0	100%
② 教員から進級や進学について、情報提供や相談が適切におこなわれていますか。	5	3	2	0	1	73%

## 令和2年度学校評価表(中学部自己評価)～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 中学部における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①一人一人の実態を把握し、障害の特性等に応じた指導上の配慮をより充実させ、学力の向上を図る。(各個人)	1	9	0	0	100%
②音声を意識したやり取りや言語活動を通して、コミュニケーション能力を高める。(部全体)	2	8	0	0	100%
③体験的な学習や交流及び共同学習を通して、自ら考え自ら動く力を育む。(部全体)	3	7	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそって行い、学力等の向上を図る。(各個人)	2	7	1	0	90%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①生徒に分かりやすく、それぞれに合った指導方法を工夫改善する。(各個人)	1	9	0	0	100%
②自立活動や総合的な学習の時間を有効に使い、コミュニケーション能力の向上を図る。(部全体)	3	7	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	4	5	0	0	100%
②生徒自身が障害を正しく理解し、肯定的に捉えられるよう、意識して取り組む。(部全体)	2	7	1	0	90%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	0	10	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
①各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	1	9	0	0	100%
②各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	2	8	0	0	100%
③所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	1	9	0	0	100%
④各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	4	5	0	0	100%

令和3年1月

## 令和2年度授業評価(中学部生徒)～集計表～

香川県立聾学校

### 評価基準

- ・とてもできている、はいと思(おも)う場合(ばあい)は、「○」
- ・ほぼできている、まあまあと思(おも)う場合(ばあい)は「△」
- ・あまりできていないと思(おも)う場合(ばあい)は、「×」

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業は楽しく、安心して受けられる。	2	3	0
② 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	0	5	0
③ 先生は教え方をいろいろと工夫している。	1	3	1
④ 先生は生徒の意見や考え方をよく聞いてくれ、大切(たいせつ)にしてくれる。	2	3	0

  

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 学習の準備や服装を整えて授業の始まりを待っている。	1	3	1
② 授業の内容を理解しようと努力している。	2	2	1
③ 授業中わからないところは質問している。	1	2	2
④ 他の人の発表をよく理解しようと努力している。	1	2	2
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	1	4	0

## 令和2年度学校評価表〔中学部保護者アンケート〕～集計表～

香川県立聾学校

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 80%

I 学習指導・部活動等について	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様は学校へ行くのを楽しみにしていますか。	2	2	0	0	0	100%
② お子様は学習面において、少しずつ向上していますか。	2	2	0	0	1	80%
③ お子様は、生活面において、この1年間でできることが増えていきますか。	0	4	0	1	0	80%
④ お子様は校外学習や交流学习等で豊かな体験活動に取り組むことができますか。	2	1	1	0	1	60%
⑤ お子様は体育や部活動を通して、体力の向上を図ることができますか。	3	1	1	0	0	80%
⑥ 教員はいじめや差別のない学部や学級作りに取り組んでいますか。	2	2	0	1	0	80%
⑦ 教員は通知表等でお子様の能力や努力を適正に評価していますか。	3	1	0	0	1	80%
⑧ 教員は聞こえや発音、手指メディア(手話、指文字等)に配慮した指導ができていますか。	2	2	0	0	1	80%
⑨ 教員はお子様の相談に適切に応じ、家庭との連絡を適宜行うことができますか。	3	1	0	1	0	80%
⑩ 学級懇談会や学級通信等によって学校でのお子様の状況が適宜伝えられていますか。	4	0	0	0	1	80%
⑪ お子様の進路について、情報提供や相談が適切に行われていますか。	1	2	0	1	0	75%

## 令和2年度学校評価表(高等部自己評価)～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 高等部における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 一人一人に応じた学習内容を設定・展開し、現場実習等校外での活動を充実し、進路目標の実現を図る。(部全体)	12	3	0	0	100%
② 学校生活全般を通して活発なコミュニケーションの場を設け、卒業後の望ましい対人関係の構築を図ることができる姿勢を育成する。(部全体)	9	5	1	0	93%
③ 部活動や各種検定試験による自主的な活動を重視し、生涯学習・スポーツにつながるような意欲・態度を育てる。(部全体)	8	7	0	0	100%
II 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 個々の進路希望に応じた学力の向上とそれに対応した具体的な目標及び内容を設定し取り組ませる。(部全体)	9	6	0	0	100%
② ICT機器等を活用した授業を推進し、生徒が分かる授業を目指す。(部全体)	4	10	0	1	93%
③ 重複障害のある生徒の指導については、アセスメントを行い、個々の能力や実態に応じた授業内容を展開する。(部全体)	8	6	1	0	93%
III 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① いじめ等が生じないよう、相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	7	8	0	0	100%
② 学校のルールを守り、服装等を整え、規律正しい生活が送れるよう指導する。(部全体)	13	2	0	0	100%
IV 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 生徒一人一人の学習意欲を高め、個別の進路に対応する学力を身につけ、進路希望の実現を図る。(部全体)	9	6	0	0	100%
② 課外や補習を効率よく実施し、個々の生徒の能力を伸ばすなど、確かな学力の向上を図る。(部全体)	6	9	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上 [%]
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	9	6	0	0	100%
② 部内での職員間の情報伝達や意見交換を行い、共通理解を図る。(各個人)	7	6	2	0	87%

## 令和2年度授業評価(高等部生徒)まとめ～集計表～

## 評価基準

- ・ とてもできている、はいと思(おも)う場合(ばあい)は、「S」
- ・ ほぼできている、まあまあと思(おも)う場合(ばあい)は「A」
- ・ あまりできていないと思(おも)う場合(ばあい)は、「B」

香川県立聾学校

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業の進む速さはちょうどよい。	47	15	1
② 先生の話し方(手話、指文字等も含む)がはっきりして、言っていることがわかりやすい。	35	25	2
③ 先生は自分や友だちの意見や考え方をよく聴いてくれ、大切にしてくれている。	41	19	2
④ 板書は見やすく、わかりやすい。	43	19	1
⑤ 先生は目で見えてわかりやすい資料やビデオ、コンピュータ等をよく使ってくれる。	33	23	2
⑥ 先生がつけている成績(通知表)は納得できる。	27	31	0
⑦ 宿題の量や内容は自分の成績向上のためになっている。	23	34	4
自分自身に関する項目	◎	○	×
① 教材(服装等含む)を準備して授業の始まりを待っている。	36	25	2
② 私語などをせず、先生の説明を理解しようと努力している。	32	29	2
③ 授業中わからないところは質問している。	35	20	8
④ 他の人の発表を理解しようと努力している。	22	30	2
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	22	24	16

## 令和2年度学校評価表〔高等部保護者アンケート〕～集計表～

## 評価基準

A：十分に達成している。全く問題はない。B：ほぼ達成している。特に問題はない。

C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D：達成していない。改善・工夫が必要である。

香川県立聾学校

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様がホームルーム等で立てた、各学期の目標は、達成できたと思いますか。	2	5	1	0	2	70%
② 学校生活全般にわたって、個に応じた指導ができていると思いますか。	5	5	0	0	0	100%
③ 通知表等において、お子様の成果や努力が適正に評価されていましたか。	5	5	0	0	0	100%
④ コミュニケーション面での指導が行われ、対人関係面でお子様の成長が感じられましたか。	4	4	1	0	1	80%
II 部活動について	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様の目標に応じて、個の能力を十分に発揮できるよう指導されていると思いますか。	4	4	0	0	2	80%
III その他	A	B	C	D	?	B以上 [%]
① お子様の学校生活での悩みや相談等について、教職員が適切な対応をしていると思いますか。	4	5	0	0	1	90%
② お子様の進路について、情報提供や個に応じた指導が適切になされていると思いますか。	4	4	0	0	2	80%

令和2年度学校評価表(他分掌評価) ~集計表~

分掌名	評価項目	A	B	C	D	比率[%]
教務部	各学部での学習活動が円滑に行えるよう、学部間の行事・時間割変更等について連絡調整を密に行う。	16	20	1	0	97%
研究部	専門性の継承と向上のために必要な研修を、年間を通して計画的かつ効果的に行う。	21	20	1	0	98%
人権・同和教育部	本校の人権・同和教育やさまざまな人権課題についての保護者の理解を促すことを目的として、『響』の内容を充実させる。	22	30	1	0	98%
生徒指導部	幼児児童生徒が安心して落ち着いた学校生活を送ることができるよう、各種安全教室(交通安全・携帯利用等)を効果的に実施する。	27	25	0	0	100%
特別活動部	各部の実態に応じて、児童生徒が主体的に活動できるよう学活や児童会生徒会、部活動等を計画実施する。	23	20	0	0	100%
進路指導部	系統性を持った進路学習を推進するため、キャリア教育段階表について、幼小学部では懇談等での活用を促し、中・高等部では検討を行い、完成させる。	18	27	5	1	88%
保健部	幼児児童生徒、教職員の健康な心身づくりの維持・継続を目標とし、各部児童生徒保健委員・教職員・保護者と連携し、特に感染症予防対策に努める。	31	18	0	0	100%
環境管理部	幼児児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、各避難訓練を計画的に実施し、全職員が行動できるよう周知する。	25	24	1	0	98%
総務部	PTA行事の円滑な運営のため、PTA行事の要項掲示や保護者への連絡文書の配布を行い、教職員への周知を徹底する。	27	22	0	0	100%
きこえとことばの相談支援センター	センター的機能についての理解を進めるために、年間を通して必要な情報提供を行う。	19	26	0	0	100%
寮務部	(担任) 寄宿舎の活動や舎生の状況を理解してもらえるために、学校、家庭と連絡を密にとる。 (担任以外) 寄宿舎での活動や取り組みについて理解推進を図るために、日報による周知や掲示物を利用したり、情報を発信したりする。	24	23	0	0	100%

評価基準

- A：十分に達成している。全く問題はない。  
 B：ほぼ達成している。特に問題はない。  
 C：あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。  
 D：達成していない。改善・工夫が必要である。